

# 最終 12月 共通テスト本番レベル模試

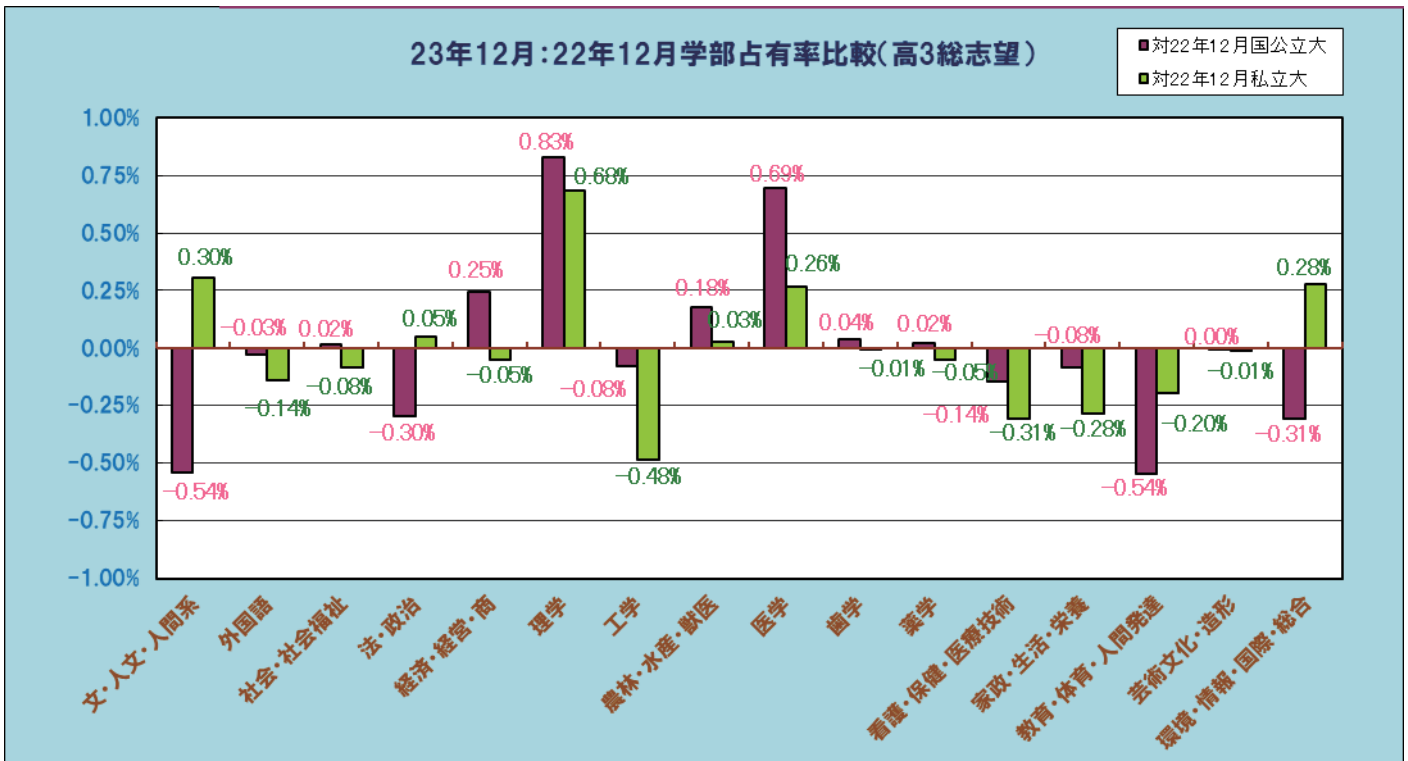
受験シーズン、間もなく到来！  
勉強・体調共にコンディションを整えよう!!

12月17日（日）に実施した「最終 12月 共通テスト本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期の高3生の志望動向と比較した。

「大学入学共通テスト」まであと1ヶ月弱。最終的な仕上げの段階となってきた。

現行課程では最後となる入試ということでプレッシャーを感じている受験生もいるかもしれないが、まずはこれまでの学習の成果を全力で発揮できるよう、コンディションを整えてほしい。

## 【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



## 【学部系統別指数(設置区分別)】\*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	91	102	99
外国語	97	93	93
社会・社会福祉	101	99	98
法・政治	94	101	98
経済・経営・商	102	100	99
理学	111	113	113
工学	100	98	99
農林・水産・獣医	103	101	104
医学	109	115	113
歯学	107	97	106
薬学	101	98	99
看護・保健・医療技術	98	94	97
家政・生活・栄養	91	77	81
教育・体育・人間発達	93	96	95
芸術文化・造形	100	99	98
環境・情報・国際・総合	95	104	101
うち情報	84	101	94
うち国際	96	99	98

### ■国公立大

「医学系」の人气がさらに集まっており、同時に「歯学系」にも人气が高まっている。

また、「理学系」や「農林・水産・獣医系」も人气が継続しているといえる。

一方、「環境・情報・国際・総合系」のうち「情報系」は、近年人気を集めていたが、設置大学の増加に伴い、志望者が分散される状況になりつつある。

### ■私立大

「環境・情報・国際・総合系」のうち、「国際系」の不人気は底を打って復調の兆しが見えるが、「外国語系」はまだ志望者が戻ってきていない。

「医学系」の2024年度入試は日程のバッティングが比較的少ないためか、人気は上昇傾向にあって激戦が予想されるため、後期日程も含め、長期戦で臨む準備をしておくことが望ましい。

※このデータは、2023年と2022年の「最終 12月 共通テスト本番レベル模試」について、大学の設置区分（国公立・私立）ごとに学部系統別の総志望者数（統一実施日受験の高3生・第6志望まで）から算出した割合を比較したものである。